第26巻第28号　［宮崎県第28週　(7/8～7/14)　全国第27週（7/1～7/7）］　令和6年7月18日

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第28週の発生動向

□　全数報告の感染症（28 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：レジオネラ症 2 例。5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 2 例、梅毒 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	結核性ぶどう膜炎	視力低下
			90歳代	女	肺結核	発熱、全身倦怠感
4類	レジオネラ症	都城	50歳代	男	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎
		日南	60歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	男	－	発熱、全身倦怠感、意識障害、肺炎
		延岡	0～4歳	女	－	発熱、咳、肺炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		都城	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 2,595 人(定点当たり 54.8)で、前週比 122%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、ＲＳウイルス感染症及びヘルパンギーナで、減少した疾患はＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 1,702 人(29.3)で、前週比 149%と増加した。延岡(43.3)、高千穂(33.5)、高鍋(32.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

【ＲＳウイルス感染症】

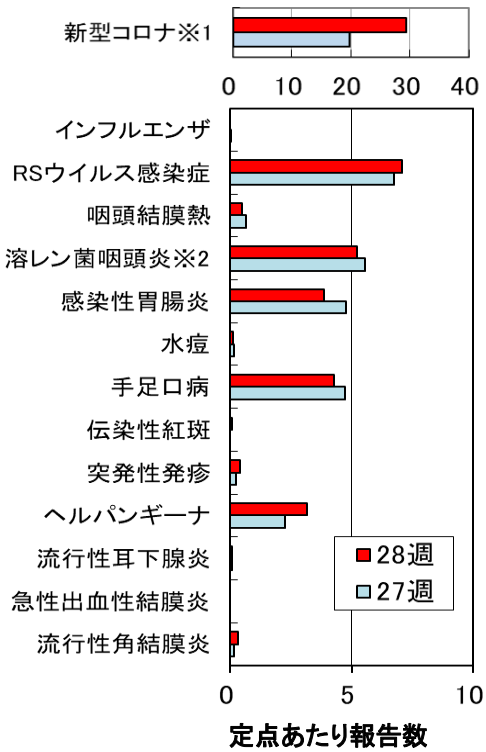
報告数は 254 人(7.1)で、前週比 105%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約 5.2 倍であった。宮崎市(12.6)、中央(11.0)、日南(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 6 ヵ月から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

【手足口病】

報告数は 153 人(4.3)で、前週比 90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約 3 倍であった。都城(6.8)、延岡(5.0)、小林(5.0)、日向(4.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は 6 ヵ月から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

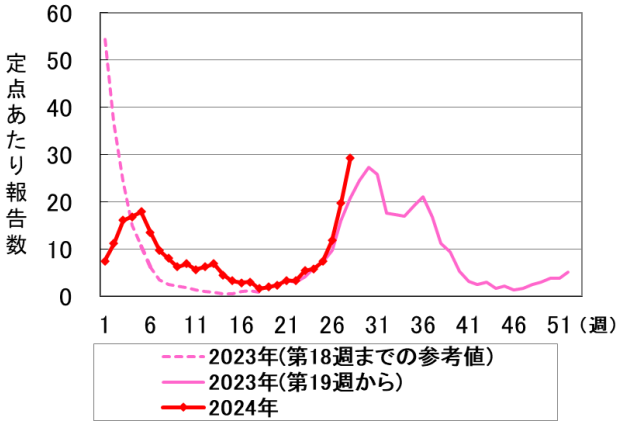
＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

《前週との比較》

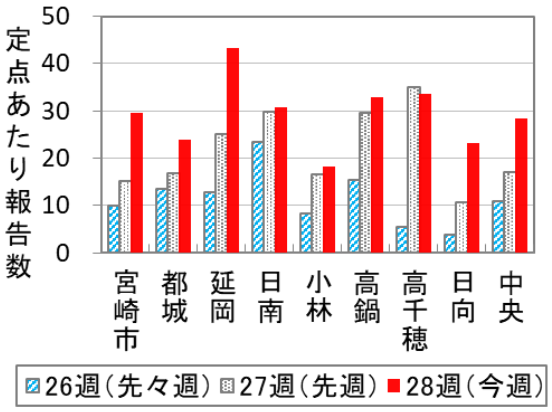


※1 新型コロナウイルス感染症
※2 Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症　発生状況

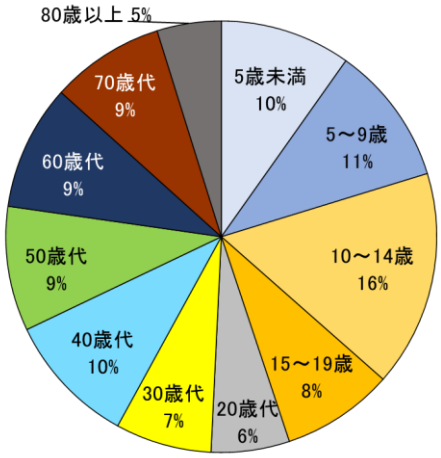


新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)

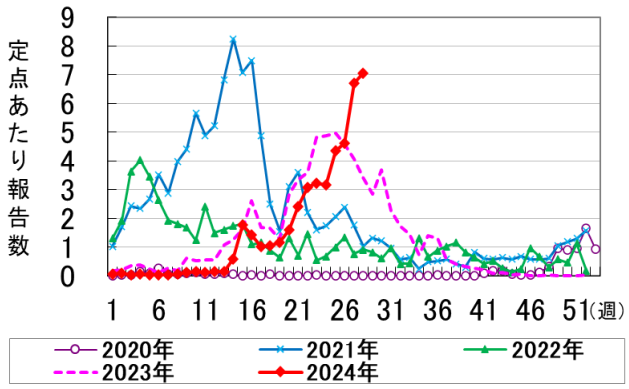


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

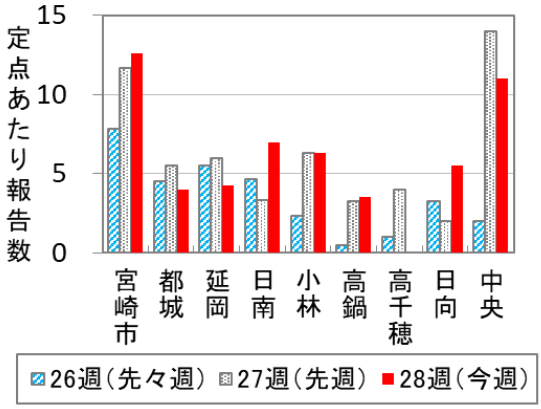
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第 28 週)



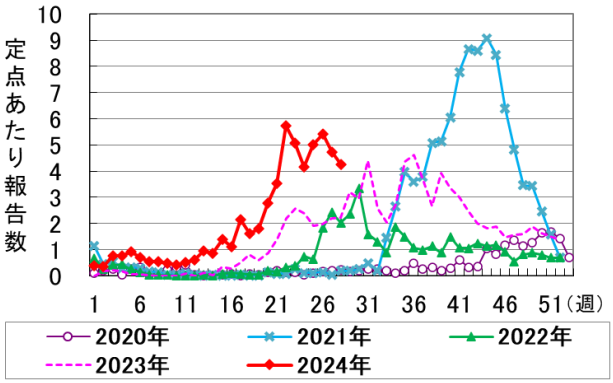
ＲＳウイルス感染症　発生状況



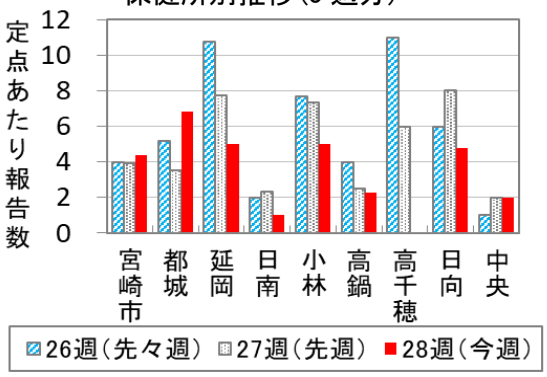
ＲＳウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



手足口病　発生状況



手足口病
保健所別推移(3 週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日向(2 例)、高鍋(1 例)保健所から報告があった。年齢は、5～9 歳が 2 例で、0～4 歳が 1 例であった。

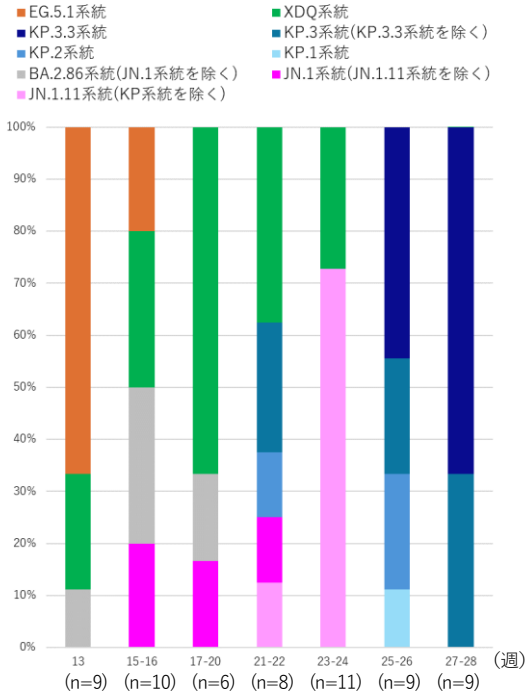
★保健所別　流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.3)
都城	手足口病(6.8) ヘルパンギーナ(7.3)
延岡	手足口病(5.0)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)
小林	手足口病(5.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	ヘルパンギーナ(10.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊
・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
・手足口病(5)
・ヘルパンギーナ(6)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第 27-28 週で全てが KP. 3 系統で、そのうち KP. 3. 3 が約 67%を占めている。

※KP 系統は JN. 1. 11. 1 の子孫株で、現在、日本、欧米で流行している。
　ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。
　衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

全国 2024 年第 27 週の発生動向

□　全数報告の感染症

1類感染症	報告なし						
2類感染症	結核	233 例					
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	129 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	2 例	オウム病	2 例
	回帰熱	2 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例	ダニ媒介脳炎	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	6 例	日本紅斑熱	10 例
	ブルセラ症	1 例	マラリア	2 例	ライム病	2 例
	レジオネラ症	61 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	33 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト･ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	33 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	5 例	侵襲性肺炎球菌感染症	33 例	水痘（入院例）	6 例
	梅毒	210 例	播種性クリプトコックス症	4 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	62 例	風しん	1 例

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 120%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、ＲＳウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱とＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 39,874 人(8.1)で前週比 139%と増加した。沖縄県(29.9)、鹿児島県(23.1)、宮崎県(19.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

ＲＳウイルス感染症の報告数は 5,044 人(1.6)で前週比 118%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.1)の約 0.8 倍であった。宮崎県(6.7)、佐賀県(5.5)、長崎県(4.7)、愛媛県 (4.7)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヵ月から 2 歳が全体の約 7 割を占めた。

手足口病の報告数は 35,960 人(11.5)で前週比 136%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.5)の約 4.6 倍であった。三重県(26.0)、埼玉県(18.8)、富山県(18.8)、広島県 (17.0)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 8 割を占めた。

＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

月報告対象疾患の発生動向　＜2024 年 6 月＞

口性感染症

【宮崎県】　定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は40人(3.1)で、前月比114%と増加した。また、昨年6月(3.4)の約0.9倍であった。

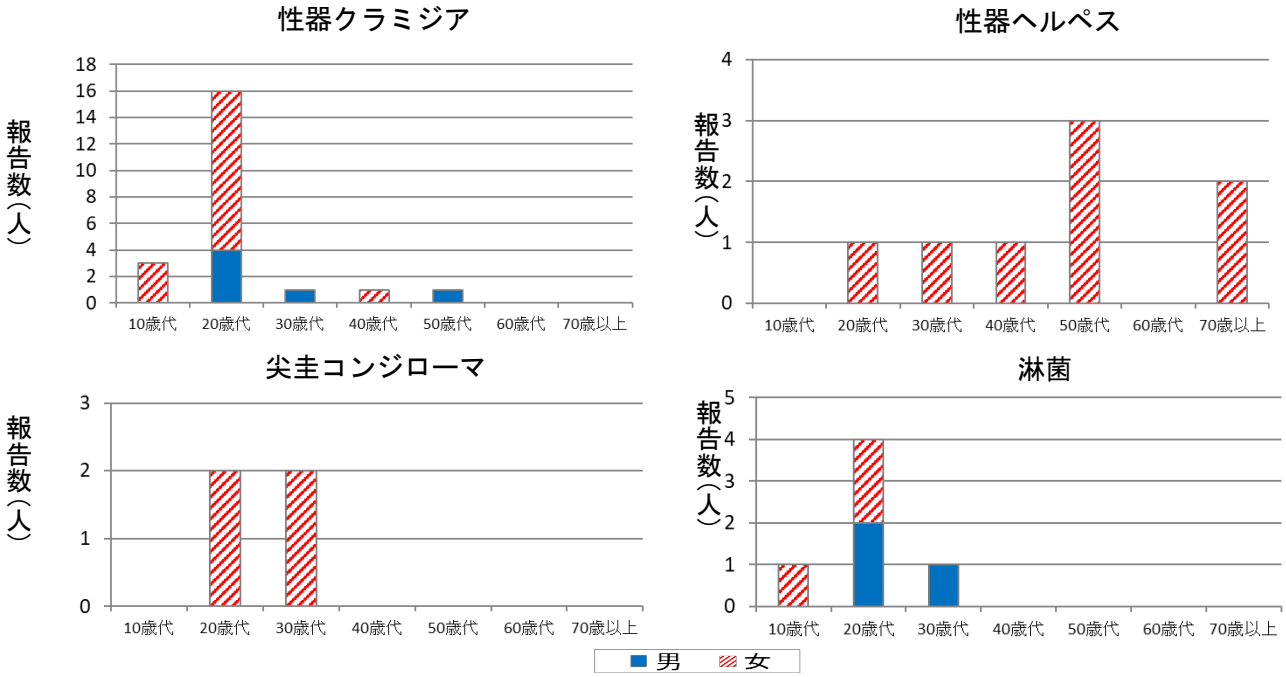
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月と同程度、昨年6月の約0.9倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。(男性6人・女性16人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の約2.7倍、昨年6月の約1.3倍であった。(女性8人)

○尖圭コンジローマ：報告数4人(0.31)で、前月と同率、昨年6月の約0.6倍であった。(女性4人)

○淋菌感染症：報告数6人(0.46)で、前月の1.2倍、昨年6月と同率であった。(男性3人・女性3人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,689人(4.8)で、前月比99%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,526人(2.6)で前月比100%、性器ヘルペスウイルス感染症896人(0.91)で前月比106%、尖圭コンジローマ550人(0.56)で前月比90%、淋菌感染症717人(0.73)で前月比96%であった。

口薬剤耐性菌

【宮崎県】　定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は25人(3.6)で、前月比147%と増加した。また、昨年6月(2.4)の約1.5倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数25人(3.6)で、前月の約1.6倍、昨年6月の1.5倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症　：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は 1,301 人(2.7)で、前月比 94%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 1,216 人(2.5)で前月比 96%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 79 人(0.16)で前月比 80%、薬剤耐性緑膿菌感染症 6 人(0.01)で前月比 50%であった。

宮崎県 感染症情報　（71定点医療機関 ）　2024年 第28週（07月08日～07月14日）

疾病名		第27週	第28週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	1145	1702	474	238	303	154	73	197	67	139	57
	定点当り	19.74	29.34	29.63	23.80	43.29	30.80	18.25	32.83	33.50	23.17	28.50
RSウイルス感染症	報告数	242	254	126	24	17	21	19	14		22	11
	定点当り	6.72	7.06	12.60	4.00	4.25	7.00	6.33	3.50	0.00	5.50	11.00
咽頭結膜熱	報告数	23	18	5	9	2				1	1	
	定点当り	0.64	0.50	0.50	1.50	0.50	0.00	0.00	0.00	1.00	0.25	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	200	187	93	18	20	27		11		12	6
	定点当り	5.56	5.19	9.30	3.00	5.00	9.00	0.00	2.75	0.00	3.00	6.00
感染性胃腸炎	報告数	172	139	37	21	6	21	21	9	1	19	4
	定点当り	4.78	3.86	3.70	3.50	1.50	7.00	7.00	2.25	1.00	4.75	4.00
水　痘	報告数	5	4	3	1							
	定点当り	0.14	0.11	0.30	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	170	153	44	41	20	3	15	9		19	2
	定点当り	4.72	4.25	4.40	6.83	5.00	1.00	5.00	2.25	0.00	4.75	2.00
伝染性紅斑	報告数		2	1								1
	定点当り	0.00	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	8	15	8	2		1	1	1		1	1
	定点当り	0.22	0.42	0.80	0.33	0.00	0.33	0.33	0.25	0.00	0.25	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	81	114	26	44	4	10	16	1		3	10
	定点当り	2.25	3.17	2.60	7.33	1.00	3.33	5.33	0.25	0.00	0.75	10.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	2	2								
	定点当り	0.08	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	2	2								
	定点当り	0.17	0.33	0.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		3						1		2	
	定点当り	0.00	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		2.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点：58、小児科定点：36（インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる）、眼科定点：6、基幹定点：7

●全数把握対象疾患累積報告数（2024年 第1週 ～28週 保健所受理分）

2類感染症	結核	52例(2)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例					
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	7例	
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	5例	レジオネラ症	9例(2)	
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	
	侵襲性肺炎球菌感染症	9例(2)	水痘（入院例）	4例	梅毒	88例(3)	
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	2例	百日咳	38例	

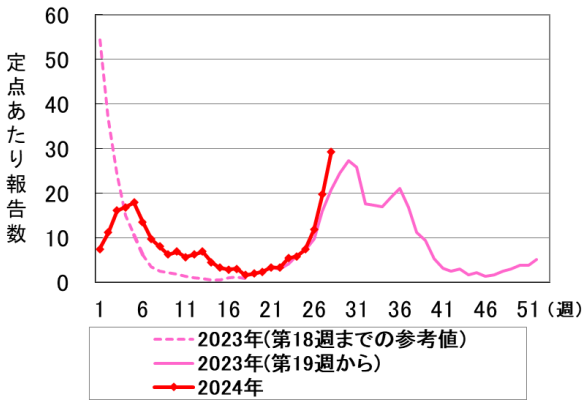
（　）内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 28 週、全国第 27 週（再掲）》

□ 県内第 28 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

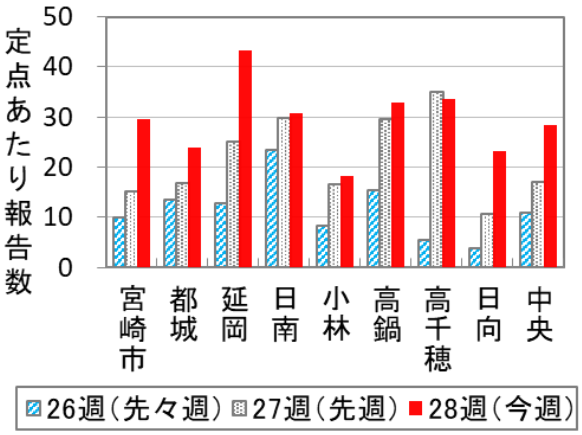
7 月 8 日～7 月 14 日までの 1 週間で 1,702 人(29.3)の報告があった。前週比 149%と増加し、延岡(43.3)、高千穂(33.5)、高鍋(32.8)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症　発生状況



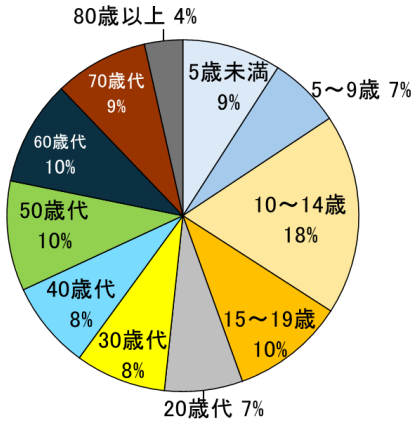
※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)

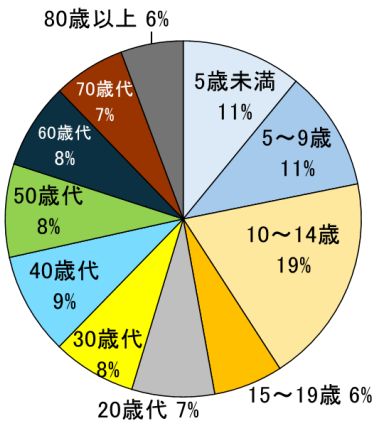


新型コロナウイルス感染症　年齢群別グラフ

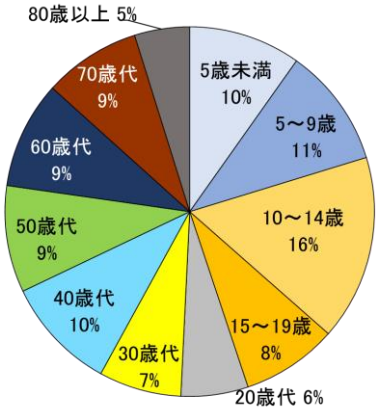
第 26 週



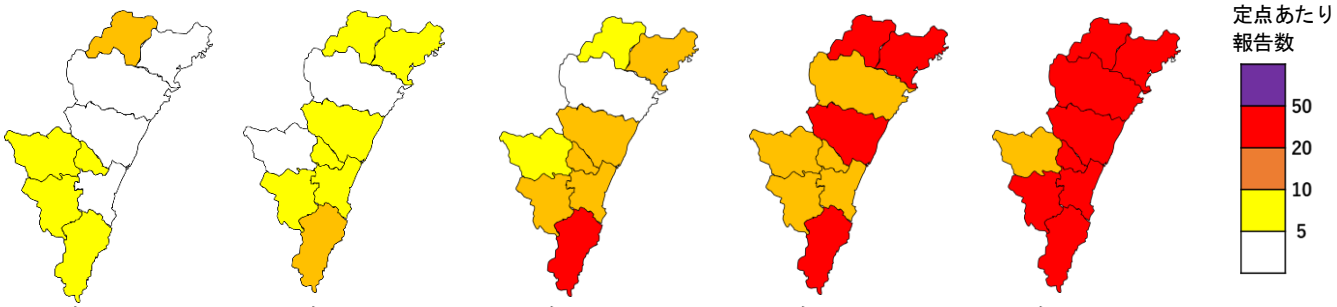
第 27 週



第 28 週



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ　2024 年第 24 週～2024 年第 28 週



2024 年 24 週（県全体 5.8）　2024 年 25 週（県全体 7.4）　2024 年 26 週（県全体 11.8）　2024 年 27 週（県全体 19.7）　2024 年 28 週（県全体 29.3）

＊　県独自の基準によるもの

□ 全国第 27 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

7 月 1 日～7 月 7 日までの 1 週間で 39,874 人(8.1)の報告があった。前週比 139%と増加し、沖縄県(29.9)、鹿児島県(23.1)、宮崎県(19.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。